



「マルタの冒険くステキな園の一日」

#2 「じゅんぼんこ」



1、ニンジン保育園には、

マルタたちが大好きなブランコがありました。
ブランコに乗れるのは二人だけです。

乗れない他のみんなは、
順番を待たなければなりません。
ブランコにはムーちゃんとウルルが
乗っていました。

トムとモン吉、
そしてマルタとオツクンは、
並んで順番を待っていました。



2、ムーちゃんとウルルがブランコから降りたので、

次はトムとモン吉の番でした。

二人は勢いよくブランコ飛び乗ると、

楽しそうにこぎ出しました。



3、トムとモン吉は随分と長く

ブランコを楽しんでいます。

マルタとオツクンが順番を待っていることを、
すっかり忘れていたようでした。

すると、待ち切れなくなったオツクンが、
「そろそろオラたちが変わってほしいぞ」
と言いました。



4、それを聞いたモン吉は、

慌てて降りると、

にっこり笑ってマルタたちに譲りました。

モン吉は、オツクンの手にタッチをすると、

「かわるね〜」

と言ってじゅんばんこしました。



5、トムは、オツクンの声が

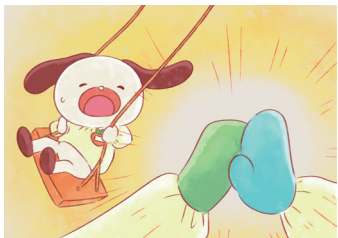
聞こえなかったようで、

夢中でブランコをこいでいました。

まったく気がついていません。



6、しばらく楽しんだオツクンは、
マルタにタッチをしてじゅんばんこしました。
こぎ出したマルタの横では、
変わらずにトムがブランコを
こぎ続けていました。



7、トムは、隣にマルタがいることに
ようやく気がつきました。

そして、マルタたちが一つのブランコを
じゅんばんこなをしながら
譲り合っていたのだと知りました。

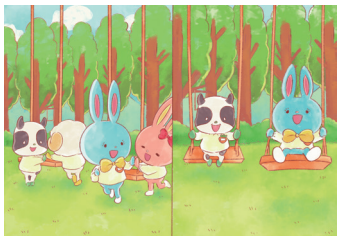


8、これを見たトムはブランコをすぐ止めました。

「ごめんなさい、ボクもじゅんばんこする」

それを聞いたマルタたちは、

笑顔でトムの手にタッチをしました。



9、トムは、オツクンにブランコを譲り、
マルタとオツクンは並んで遊びました。

マルタとオツクンもまた
乗りたくて待っていたムーちゃんとうるると
タッチして順番を守ります。



10、この日からみんなの大好きなブランコは、
タッチをしてじゅんばんこすることになり、
譲りあいのお切さを知りました。